宮崎大学教育学部附属中学校

令和５年度公開研究会

研究主題

未来へのパスサポート

～自己調整からのアプローチ～

開催日程

令和5年11月15日(水) 9：00－16：05

場　　所：宮崎大学教育学部附属中学校
受　　付：8：30－9：00　　体育館ピロティ
後　　援：宮崎県教育委員会
　　宮崎県市町村教育委員会連合会

タイムテーブル

全体説明
9:00–9:20
体育館アリーナ

公開授業Ⅰ
説明 9:30–9:50
授業 9:50–10:40
各　教　室

公開授業Ⅱ
説明 10:55–11:15
授業 11:15–12:05
各　教　室

教科別分科会Ⅱ
14:55–15:55
各分科会場

教科別分科会Ⅰ
13:45–14:45
各分科会場

生徒発表
13:15–13:35
体育館アリーナ

研究公開の開催にあたって

本校は、２０１７年度より、キャリア教育を軸として生徒の未来づくりに取り組んできました。生徒の現在と未来、また、学校と社会を接続していくことができるよう、キャリア教育を「将来への準備教育」と位置づけ、学校の教育活動を展開しています。

本年度は、研究主題を「未来へのパスサポート（３年次）」、副題を「自己調整からのアプローチ」として設定しました。昨年度までの研究を踏まえ、「やさしい学校」づくりをより一層進めていくためには、生徒一人一人の動機づけに着目することが大切だと考え、実践を積み重ねていきました。

生徒たちが学ぶ学校の教室には様々な状況の生徒がいます。例えば…

- □　無気力で活動に取り組まない生徒
- □　怒られたくない等の消極的な理由で活動に取り組む生徒
- □　自分の将来につながるから頑張ろうと意欲的に活動に取り組む生徒
- □　活動の内容が面白いから頑張ろうとする生徒

このように様々な状況の生徒がいるのが、多くの学校の姿だと思います。そのような状況においても、学校においては授業や様々な教育活動を通して、多くのことを学ぶ機会を提供し、そして生徒の成長につなげていく必要があります。このような実情を踏まえると、私たちの支援と共に、生徒たち一人一人が、自分の将来や自分にとって大切だからといった理由で動機づけできる（自律的動機づけ）生徒を育てることが、重要だと考えました。

今回の公開研究会を通して、私たちは、自律的動機づけをし物事に取り組むことができる人材を育成するためには、３つの欲求を満たすことができる授業（教育活動）を開発することが大切であると提案します。公開授業Ⅰ・Ⅱにおいては、この仮説に基づいた授業実践を公開し、教科別分科会の中で、その妥当性について多様な視点から議論していきたいと思っています。また、今回の公開研究会においては、生徒発表として、生徒の代表が自律的動機づけをしながら取り組んでいる様々な活動についての発表を行います。生徒が学校生活を送る中で、より良い学校をつくっていくために行った活動やそのような活動を行うに至った過程等、生徒の生の声を通してお伝えしていきます。

公開研究会に多くの方にご出席いただき、本校の研究や強いては今後の教育の在り方について、一緒に考える機会になればと考えています。よろしくお願いします。

公開授業Ⅰ

説明 9:30–9:50
授業 9:50–10:40

教科別分科会Ⅰ

13:45–14:45

教科	授業者・学年	単元名（題材名）	指導助言者
国　語	教諭　外山　絢仁 （３年B級）	和歌の魅力を伝え合う ～『万葉・古今・新古今』の表現のしかたを評価する～	宮崎県教育庁 義務教育課 指導主事 宮本　朝美
数　学	教諭　谷口　朝哉 （２年C級）	図形の調べ方 ～星形多角形の秘密にせまる～	宮崎県教育庁 義務教育課 指導主事 増田　邦明
理　科	教諭　弓削　聖一 （3年C級）	エネルギー資源とその利用 ～SDGsの視点をふまえて エネルギー資源の有効利用について考える～	宮崎県教育庁 義務教育課 指導主事 安部　泰弘
外国語	教諭　園田　伊公子 （３年A級）	Unit6 Beyond Borders	宮崎県教育庁 義務教育課 指導主事 荒木　光司
美　術	教諭　立花　克樹 （２年D級）	つくり　つくりかえ つくる　Advance ～経験と感性をつむぐ～	宮崎県教育庁 北部教育事務所 主　幹 菊池　　憲
保健体育	教諭　寳田　光貴 （３年D級）	体育理論 「文化としてのスポーツの意義」	宮崎県教育庁 スポーツ振興課 指導主事 西田　英司

公開授業Ⅱ

説明 10:55–11:15
授業 11:15–12:05

教科別分科会Ⅱ

14:55–15:55

教科	授業者・学年	単元名（題材名）	指導助言者
道　徳	教諭　橋田　浩幸 （1年C級）	「あったほうがいい？」	宮崎県教育庁 義務教育課 指導主事 西川　元
学級活動	教諭　柳田　章衣 （1年D級）	よりよい学級生活を送るために学級全体で取り組むことを決めよう ～学級の一員としての関わり方～	宮崎県教育庁 義務教育課 指導主事 坂本　美香
総合的な学習の時間	教諭　倉掛　啓輔 （2年A級）	仕事の発見 ～よりよく伝えるための探究～	宮崎県教育 研修センター 社会教育主事 楠本　将夫

申し込み方法

QRコードまたは下のURLよりお申込みください。

https://forms.gle/WtnThi8Dv8BYkXw66

申込締切：令和5年11月2日(木)

・本年度は紙媒体での研究紀要の配付はいたしません。ご理解のほど、よろしくお願いします。（当日ダウンロードすることが可能なＵＲＬをお示ししますので、タブレットやパソコン等の情報機器のご準備をお願いします。なお、Wi-Fiについては、本校のWi-Fiに接続可能です。）

・お弁当(お茶付き)は500円で注文可能です。参加申し込みフォームからお申込みいただき当日受付で代金の支払いをお願いいたします。当日の注文はできません。

・当日の連絡事項につきましては、本校ホームページ（https://www.miyazaki-u.ac.jp/jhs/）にて連絡をいたします。確認をよろしくお願いします。

問い合わせ先

宮崎大学教育学部附属中学校（研究主任　郡　俊一郎）
TEL：0985-25-1122　Mail：koori.shiyunichirou.e5@cc.miyazaki-u.ac.jp
FAX：0985-25-1123　HP　：https://www.miyazaki-u.ac.jp/jhs/